

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キムラ

コード番号 7461 URL <http://www.kimuranet.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 勇介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 新榮 功明

TEL 011-721-4311

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,391	△1.5	966	△5.7	968	△4.7	434	△7.8
26年3月期第2四半期	14,612	1.6	1,024	26.0	1,016	29.1	470	27.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 619百万円 (△4.6%) 26年3月期第2四半期 649百万円 (38.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	29.26	—
26年3月期第2四半期	31.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,176	9,947	45.8
26年3月期	16,665	9,476	48.1

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 8,333百万円 26年3月期 8,008百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,530	0.4	1,701	2.6	1,700	4.0	738	0.8	49.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	15,180,000 株	26年3月期	15,180,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	347,124 株	26年3月期	346,824 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	14,832,966 株	26年3月期2Q	14,835,210 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成26年10月27日に当社ホームページに掲載いたします。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済対策や金融政策の効果により雇用環境の改善や景気回復への期待感が高まったものの、4月に実施された消費税率引き上げに向けた駆け込み需要による反動減が影響したことから依然として景気の見通しは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高143億91百万円（前年同四半期比1.5%減）、営業利益9億66百万円（同5.7%減）、経常利益9億68百万円（同4.7%減）、四半期純利益4億34百万円（同7.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(卸売事業)

新設住宅着工戸数が前年同期比で大幅な着工減で推移している状況の中、取引先との関係強化を目的としたトップ営業や情報収集・提案営業を強化、推進しております。また、提案営業に特化している東京営業部エリア、特に東京、名古屋、大阪などの大都市圏では前年を上回る業績となるなどの効果が見られてきております。これらの結果、売上高は57億77百万円（前年同四半期比2.4%減）、営業利益は5億22百万円（同10.3%減）となりました。

(小売事業)

消費税増税後の消費低迷状況が続いておりますが、仕入ルートの見直しを継続的行なってきたことにより仕入原価が低減され利益率が0.8%改善しております。

また、経費削減活動を全社的に行ってきた結果、売上高は81億85百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益は5億23百万円（同1.2%増）となりました。

(不動産事業)

保有する不動産の運用により安定的な収益確保ができた結果、売上高は1億4百万円（前年同四半期比0.6%増）、営業利益は59百万円（同9.1%減）となりました。

(足場レンタル事業)

新築住宅が大幅な減少となっておりますがリフォーム需要は堅調に推移していることから受注現場数は前年に比べ若干の増加傾向となっております。特に中・大型現場の受注が増加していることにより、売上高は3億23百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業利益は65百万円（同36.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は181億76百万円となり、前連結会計年度末に比べて15億10百万円の増加となりました。これは主に、現預金4億66百万円の増加と売上債権が5億48百万円、商品が3億54百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は82億28百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億39百万円増加しております。これは主に、仕入債務6億39百万円の増加と借入金2億45百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は99億47百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億71百万円増加しております。1株当たりの純資産は561円84銭となり、前連結会計年度末に比べて21円92銭増加しております。

なお、自己資本比率は45.8%（前連結会計年度末は48.1%）となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結会計期間末に比べ1億17百万円増加して20億34百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果による資金の増加は、7億8百万円（前年同四半期は4億16百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権が5億48百万円増加し、たな卸資産が3億48百万円増加しておりますが、税金等調整前四半期純利益9億79百万円と仕入債務が6億39百万円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果による資金の減少は、3億2百万円（前年同四半期は40百万円の減少）となりました。これは主に、投資有価証券取得による支出2億1百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果による資金の増加は、61百万円（前年同四半期は11億80百万円の減少）となりました。これは主に、6億円の短期借入金発生がありましたが、3億55百万円の長期借入金返済と1億47百万円の配当金支払に伴う支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成26年4月28日付「平成26年3月期決算短信」において発表しております平成27年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,574,327	2,041,313
受取手形及び売掛金	1,893,931	2,442,886
商品	2,330,246	2,684,587
販売用不動産	158,172	152,229
その他	340,169	315,619
貸倒引当金	△3,469	△4,352
流動資産合計	6,293,378	7,632,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,533,911	4,404,335
土地	2,405,789	2,369,118
その他(純額)	2,186,495	2,229,028
有形固定資産合計	9,126,196	9,002,482
無形固定資産	12,916	20,654
投資その他の資産		
その他	1,240,348	1,528,013
貸倒引当金	△7,236	△7,142
投資その他の資産合計	1,233,112	1,520,870
固定資産合計	10,372,225	10,544,007
資産合計	16,665,604	18,176,292
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,975,325	2,614,928
短期借入金	1,370,000	1,872,500
未払法人税等	386,553	431,604
賞与引当金	113,052	140,264
その他	584,961	695,823
流動負債合計	4,429,893	5,755,121
固定負債		
長期借入金	1,675,000	1,417,500
退職給付引当金	247,033	—
役員退職慰労引当金	37,730	37,730
退職給付に係る負債	—	238,456
資産除去債務	228,940	231,252
その他	570,392	548,285
固定負債合計	2,759,096	2,473,224
負債合計	7,188,989	8,228,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,500
利益剰余金	6,312,856	6,598,581
自己株式	△132,815	△132,934
株主資本合計	7,807,891	8,093,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,832	113,742
繰延ヘッジ損益	△861	△398
土地再評価差額金	126,906	126,906
その他の包括利益累計額合計	200,877	240,250
少数株主持分	1,467,846	1,614,199
純資産合計	9,476,614	9,947,946
負債純資産合計	16,665,604	18,176,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	14,612,521	14,391,082
売上原価	11,023,232	10,811,604
売上総利益	3,589,289	3,579,477
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	992,425	993,711
賞与引当金繰入額	132,308	140,264
退職給付費用	16,940	17,765
貸倒引当金繰入額	2,025	1,039
その他	1,421,180	1,460,638
販売費及び一般管理費合計	2,564,880	2,613,418
営業利益	1,024,409	966,058
営業外収益		
受取利息	333	373
仕入割引	42,723	42,683
その他	24,845	18,755
営業外収益合計	67,901	61,812
営業外費用		
支払利息	32,248	22,180
売上割引	34,329	35,669
デリバティブ評価損	3,599	—
その他	5,750	1,256
営業外費用合計	75,928	59,106
経常利益	1,016,383	968,765
特別利益		
固定資産売却益	—	2,129
役員退職慰労引当金戻入額	20,000	—
受取保険金	—	9,374
特別利益合計	20,000	11,503
特別損失		
固定資産除売却損	3,392	854
特別損失合計	3,392	854
税金等調整前四半期純利益	1,032,990	979,414
法人税、住民税及び事業税	345,709	419,368
法人税等調整額	74,996	△19,878
法人税等合計	420,705	399,490
少数株主損益調整前四半期純利益	612,284	579,923
少数株主利益	141,691	145,866
四半期純利益	470,592	434,056

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	612,284	579,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,751	38,950
繰延ヘッジ損益	1,671	908
その他の包括利益合計	37,422	39,858
四半期包括利益	649,707	619,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	507,191	473,430
少数株主に係る四半期包括利益	142,515	146,352

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,032,990	979,414
減価償却費	242,797	240,859
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,063	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32,808	27,211
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,672	789
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△20,000	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△8,576
受取利息及び受取配当金	△3,422	△7,712
支払利息	32,248	22,180
デリバティブ評価損益 (△は益)	3,599	—
固定資産除売却損益 (△は益)	3,392	△1,275
受取保険金	—	△9,374
売上債権の増減額 (△は増加)	△857,377	△548,863
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△228,714	△348,397
仕入債務の増減額 (△は減少)	839,017	639,603
未払消費税等の増減額 (△は減少)	17,792	65,377
その他	△7,433	37,045
小計	1,084,091	1,088,282
利息及び配当金の受取額	3,421	7,711
利息の支払額	△32,244	△22,508
役員退職慰労金の支払額	△269,255	—
保険金の受取額	—	9,374
法人税等の支払額	△369,887	△374,681
営業活動によるキャッシュ・フロー	416,125	708,177
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△109	△221
有形固定資産の取得による支出	△39,711	△95,801
有形固定資産の売却による収入	—	2,129
無形固定資産の取得による支出	△1,202	△9,100
投資有価証券の取得による支出	△1,402	△201,252
貸付金の回収による収入	1,904	1,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,520	△302,604
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△490,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△505,000	△355,000
自己株式の取得による支出	△441	△119
配当金の支払額	△148,214	△147,886
リース債務の返済による支出	△36,398	△35,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,180,054	61,189
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△804,449	466,763
現金及び現金同等物の期首残高	2,721,581	1,567,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,917,131	2,034,555

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I. 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,918,032	8,295,274	103,849	295,365	14,612,521
セグメント間の内部売上高 又は振替高	333,547	5,458	11,328	—	350,333
計	6,251,580	8,300,733	115,177	295,365	14,962,854
セグメント利益	582,172	517,382	65,587	48,233	1,213,376

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,213,376
セグメント間取引消去	2,952
全社費用(注)	△191,919
四半期連結損益計算書の営業利益	1,024,409

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,777,489	8,185,704	104,487	323,400	14,391,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	289,236	3,633	11,328	—	304,197
計	6,066,726	8,189,337	115,815	323,400	14,695,279
セグメント利益	522,399	523,821	59,608	65,719	1,171,550

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,171,550
セグメント間取引消去	△1,462
全社費用(注)	△204,029
四半期連結損益計算書の営業利益	966,058

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。